

AICHI

Economy and
Labor
Vision

あいち経済労働ビジョン 2021-2025 概要版

危機を乗り越え、世界に輝く国際イノベーション都市へ



愛知県 2020年12月

1

計画の位置づけ

- 「愛知県中小企業振興基本条例」に基づき、中小・小規模企業の振興に関する総合的な施策を示す。
- 2030～2040年頃の社会経済を展望し、目指すべき産業労働分野の姿を提示したうえで、その実現に向け2021年度から2025年度までに取り組む施策の方向性と主な施策を示す。

2

検討の視点

愛知県の現状

強み

- ・ 製造品出荷額等は1977年以来全国一
- ・ 県内総生産は大阪府を抜き全国第2位（2018年度）
- ・ 自動運転等の社会実装に向けた取組の推進
- ・ ジブリパーク、アジア競技大会、リニア中央新幹線などのプロジェクトが進展 など

課題

- ・ 強い輸送用機械に依存した産業構造
- ・ 情報通信産業の弱さやその担い手不足
- ・ アントレプレナーシップの低さ
- ・ 長期的な人手不足
- ・ 地域魅力の発信力の弱さ など

新型コロナウイルス感染症への対応と新たな社会経済への転換の必要性

- ・ 新型コロナウイルス感染症により世界経済は戦後最大の危機に直面
- ・ 現下の危機克服に向けた対策の継続・充実が必要
- ・ 感染拡大防止と経済活動を両立する「新しい生活様式」への対応が必要

2030年～2040年頃の社会経済の展望

- ・ 人口減少の本格化、人生100年時代の到来
- ・ 第4次産業革命の進展
- ・ AI、ロボット等の技術の進化等に伴う雇用の変化、働き方の多様化
- ・ 世界経済の多極化、感染症リスクや資源・エネルギー問題等の深刻化

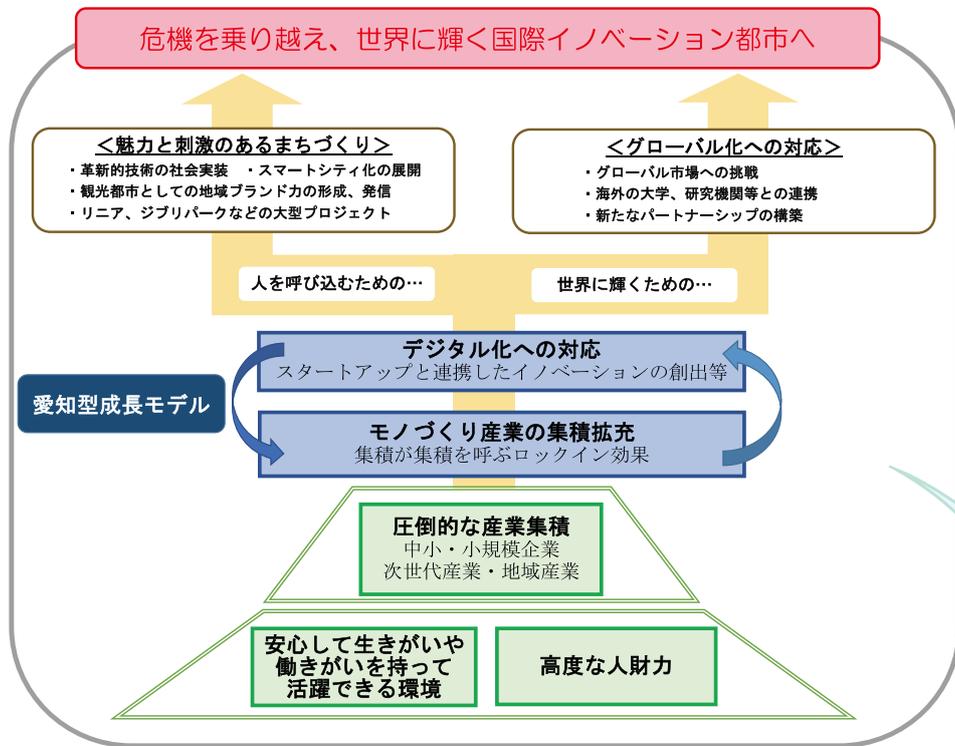
計画策定に当たっての基本的な考え方

- ・ 愛知の経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業の企業力強化と持続的な発展を第一とし、本計画の基盤に据える。
- ・ 感染症の影響や社会経済の展望を踏まえると、従来の考え方や取組の延長線上では、愛知の持続的な発展は困難との危機感を共有する。
- ・ 従来の産業分野や業種の垣根が曖昧となり、融合が進んでいること、県内各地域の産業集積に違いがあることを踏まえ、第1次から第3次までのあらゆる産業分野への展開を視野に入れる。
- ・ 「産業」「労働」「人づくり」「まちづくり」が相互に密接に関係することから、全庁的な連携を図る。
- ・ 県内経済団体、労働団体、支援機関や国、市町村等と連携し、地域を挙げて取り組む。
- ・ 経済活動の広域化・グローバル化を踏まえ、広域的な視点を盛り込む。

3 目指すべき姿

<計画の目標>

☆ 危機を乗り越え、世界に輝く国際イノベーション都市へ



国際イノベーション都市づくりを進めることにより、2030年から2040年に向けて、次の3つの姿を目指していく。

<国際イノベーション都市づくりによる3つの目指すべき姿>

●イノベーションが次々と生み出されるとともに、持続可能な社会を支える産業が展開する地域

- ・世界をリードする産業の革新や創造が進むイノベーション・エコシステムが形成されている。
- ・地域で消費するものは地域で生産する「地消地産」を支える足腰の強い産業が地域に根付いている。
- ・中小・小規模企業が、ナンバーワン・オンリーワンの技術や技能、ビジネスモデルを武器として、グローバルな経済活動の中で欠くことのできないプレーヤーとして活躍している。

●人や企業を呼び込み、世界的な交流・連携の拠点となる存在感のある地域

- ・分厚い産業集積と観光交流を組み合わせることにより、オンライン等での交流も含め、国内外から企業や人が集まり、イノベーションが創出される拠点として認知されている。
- ・この地域に魅力や刺激を加える大規模プロジェクトを通じて、観光都市としてのブランド力が高まっている。
- ・海外との独自のパートナーシップが進展し、グローバルな経済交流活動が活発に展開されている。

●誰もが自らの能力を高め・発揮し、安心して生きがいや働きがいをもって活躍できる地域

- ・AI、ロボット等では生み出せない新たな価値を創造する人材を育む環境が整備され、前向きに挑戦する人が育ち、失敗しても評価され、再チャレンジが可能となるなど、安心して働くことができる。
- ・時代の変化に合わせて、いつでも何度でも学び直し、自らの能力や可能性を高めることができる。
- ・誰もが自らの意欲に応じて、その能力を発揮し、社会経済の担い手として活躍できる環境が整っている。

4 施策の体系と具体的な施策

- 喫緊の課題である感染症の感染拡大による危機の克服と「新しい生活様式」に対応した緊急対策に全力で取り組む。
- 世界に輝く国際イノベーション都市づくりによる3つの目指すべき姿の実現に向け、6つの施策の柱を推進するとともに、6つの柱を下支える取組として、1つの基盤施策を推進していく。

現下の危機への対応

緊急対策：新型コロナウイルス感染症への対応

目指すべき姿に向けた施策展開

イノベーションが次々と生み出されるとともに、持続可能な社会を支える産業が展開する地域

人や企業を呼び込み、世界的な交流・連携の拠点となる存在感のある地域

誰もが自らの能力を高め・発揮し、安心して生きがいや働きがいをもって活躍できる地域

柱1：次世代産業の振興・イノベーションの創出

柱2：地域産業の活性化

柱3：観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

柱4：グローバルな産業拠点機能の向上

柱5：誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

柱6：愛知の産業を担う人財力の強化

基盤施策：中小・小規模企業の持続的発展

緊急対策 新型コロナウイルス感染症への対応

<緊急対策・経済対策の実施>

- 感染症の影響は長引くことが想定される中、3つの視点に立った取組を推進。

緊急支援

●現下の危機に対応し、事業の継続や就労及び雇用維持を支える

- ・ 県の融資制度の拡充等による資金繰りの支援
- ・ Web 版合同企業説明会・地域別の就職面接会の開催
- ・ 雇用調整助成金など国の支援制度の利用促進 など

強靱な 経済構造の 構築

●「新しい生活様式」や将来の感染症リスクにも対応できる強靱な経済構造の構築

- ・ 感染症対策に資する新サービス・新製品の開発・販路拡大支援
- ・ 専門家派遣等によるテレワークの導入支援
- ・ 新型コロナに対応した BCP モデルの策定・普及促進 など

反転攻勢に 向けた 需要喚起

●収束後を見据え、経済活動を安定的な成長軌道に戻す

- ・ 市町村が実施するプレミアム商品券発行事業の支援
- ・ 旅行商品購入者への助成など県内旅行需要の拡大 など

<感染症を踏まえた今後の施策展開>

- 感染症リスクやデジタル化により、効率性を最優先した一極集中型の社会経済から、多極分散型で地域内循環型の社会経済へと移行していく可能性が見込まれる。
- 大都市圏でありながら、豊かな自然環境やゆとりある生活空間を有する愛知の強みを生かした首都圏からの人材還流など、社会経済の変化を捉えた施策展開が必要。
- デジタル化への対応の遅れや強い輸送用機械に依存した産業構造など、本県の弱みや課題とされてきた点について、施策の充実が必要。
- こうした考え方に沿って、目指すべき姿の実現に向けた、6つの施策の柱と1つの基盤施策に、感染症の経験を踏まえた施策を織り込んでいく。

◎感染症拡大が社会経済に与えた主な影響

- ・ 非接触・非対面のビジネスモデル構築への要請
- ・ 過度な過密のリスクにより、東京一極集中の是正の必要性の高まり
- ・ 生産拠点の国内回帰・多元化や物流網の複線化などサプライチェーンの見直し
- ・ 県内や近隣県など身近な地域から誘客する重要性の高まり
- ・ 自国優先主義、保護主義的傾向の広がりなどが見られるなかで、世界共通の目標である SDGs（持続可能な開発目標）の重要性の高まり など

柱 1 次世代産業の振興・イノベーションの創出

- 強みであるモノづくりとデジタル技術を組み合わせた革新的技術の社会実装の推進
- オープンイノベーションを基本コンセプトとした愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実



ロボット競技大会の様子

【次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進】
 ・自動運転の活用や「MaaS」など、新たなモビリティサービスの実現に向けた取組の加速

【航空宇宙産業の振興】

・「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」における航空宇宙産業の持続的な発展の推進

【ロボット産業の振興】

・「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核とした次世代産業の大きな柱としての取組の推進

【革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備】

・「自動運転」、「ロボット」の社会実装に向けた取組を中部国際空港島を中心とする地域におけるスーパーシティ化に向けた取組に活用

【スタートアップ・エコシステムの形成促進】

・「Aichi-Startup 戦略」に基づいたスタートアップの創出・育成・誘致



ステーション A i 早期支援拠点

柱 2 地域産業の活性化

- 感染症や災害リスクを踏まえ、「地消地産」の視点が重要となる中、デジタル化や感染症の影響など、多様化する市場ニーズに適応した地域産業の活性化



あいちサービス大賞表彰式

【商業、サービス産業、地場産業の振興】

・「あいち商店街活性化プラン 2021」に基づく商店街の活性化
 ・サービス産業の生産性向上の促進
 ・地場産業の新商品開発・販路拡大等の支援

【課題解決型産業の育成】

・「愛知県新エネルギー産業協議会」における研究開発・事業化の促進
 ・「あいち健康長寿産業クラスター推進協議会」における産学・医工連携による新事業の創出の促進

【農林水産業の振興】

・6次産業化と農商工連携の促進
 ・ICTを活用した「スマート林業」や「スマート水産業」の推進



愛知水素社会体験ツアー

柱 3 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

- 県内や近隣県、国内観光を中心とした需要喚起及び感染症と共存する持続可能な観光の推進
- 「ジブリパーク」を始めとする大型事業・プロジェクトを活かし、「あいち観光戦略 2021-2023」に基づいた観光関連産業の活性化



AICHI-NAGOYA



愛知県
観光 PR 用
ロゴマーク



ジブリパーク「青春の丘エリア」イメージ

【愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション】

- ・地域に根差した資源の魅力を磨き上げ、市町村や県の境界を越えて結び付けるなど、付加価値の高い観光コンテンツの充実

【ジブリパークや MICE、スポーツ大会を通じた誘客】

- ・「ジブリパーク」や「アジア競技大会」、「リニア中央新幹線」など、大型事業・プロジェクトを契機とした誘客の推進

【受入体制の整備・充実と観光交流拠点としての機能強化】

- ・宿泊施設等の観光関係施設や観光案内板等の多言語化、無料公衆無線 LAN やキャッシュレス決済等の整備促進
- ・自然災害や感染症等から、旅行者の安全・安心を守る施策の実施

柱 4 グローバルな産業拠点機能の向上

- 感染症の影響下にあっても県内企業のグローバル展開を支えるための海外パートナーシップの強化
- サプライチェーンの見直しや東京一極集中の是正の動きを踏まえた立地環境の整備・研究開発機能の向上



IMT Atlantique との
覚書締結の様子



知の拠点あいち

【国際ビジネスの拡大支援】

- ・海外の国・地域とのパートナーシップの構築、海外大学との連携・協力関係の構築

【立地環境の整備・企業誘致の推進】

- ・「産業空洞化対策減税基金」を活用した立地補助金や産業立地促進税制の運用など、立地優遇策を活用した企業立地の支援
- ・東京一極集中の是正やサプライチェーンの再構築の動きを踏まえた企業誘致活動の推進

【研究開発機能の強化】

- ・「あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2025（仮称）」に基づく科学技術分野と知的財産分野に関する施策の一体的な推進

柱5 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

- 誰もが自らの意欲に応じて、その能力を発揮し、生き生きと活躍できる環境づくりの推進
- 感染症を契機とした働き方改革の更なる推進及び雇用維持に向けた施策の推進



「ヤング・ジョブ・あいち」
における相談対応

【若者の活躍支援】

- ・「ヤング・ジョブ・あいち」における就業に関するサービスのワンストップでの提供

【女性の活躍促進、男女共同参画社会づくり】

- ・「女性が元気に働き続けられる愛知」を実現することを目的とした「あいち女性の活躍促進プロジェクト」の推進

【高齢者、障害者の活躍支援】

- ・キャリアカウンセリングなどによる高齢者の就労支援
- ・「あいち障害者雇用総合サポートデスク」における企業向け支援

【外国人の活躍支援、多文化共生社会づくり】

- ・相談窓口の設置や企業に対する専門家派遣など、定住外国人の就労支援

【就職氷河期世代の活躍支援】

- ・「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」における取組の推進

【生き生きと働ける職場づくり】

- ・「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」における仕事と生活の調和の推進
- ・「あいちテレワーク推進アクションプラン」に基づく、テレワークの普及促進

【感染症の拡大に対応した雇用維持や新規学卒者の就職への支援】

- ・第二の就職氷河期世代を生じさせないための新規学卒者等の就職支援



あいち就職氷河期世代活躍支援
プラットフォーム会議の様子

柱6 愛知の産業を担う人財力の強化

- デジタル人材を始めとしたイノベーションを創出する人材や高度なモノづくり人材の育成
- 感染症の影響により地方への関心が高まる中で国内外的な人材確保
- 自らの知識や能力を高めることができる環境づくり



少年少女発明クラブの
活動の様子

【イノベーション人材の育成】

- ・「あいち STEM ハイスクール」の推進など、科学技術人材の育成
- ・県立高等学校における英語教育・国際理解教育の推進など、グローバル人材の育成
- ・「デジタル人材育成ワーキンググループ」によるデジタル人材の育成

【高度なモノづくり人材の育成】

- ・技能五輪メダリスト等の出前講座や技能五輪国際大会の招致など、技能の継承や技能尊重の気運の醸成

【国内外からの人材の確保】

- ・UIJ ターン希望者に対する県内企業の魅力発信や個別相談等の就労の支援

【キャリア教育・リカレント教育の推進】

- ・小中・高等学校、特別支援学校における系統的なキャリア教育の推進
- ・社会人の学び直しを促進する環境づくり



あいち人財強化
プロジェクト
イメージキャラクター
「アイチータ」

基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

○本県の産業経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業については、感染症により深刻な影響を受けるとともに、デジタル化への対応など様々な課題を抱えていることから、社会の変化に柔軟に対応した経営革新を支援



(公財) あいち産業振興機構のIT活用セミナーの様子



「愛知ブランド」シンボルマーク

【経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援】

- ・(公財) あいち産業振興機構における経営、取引先開拓、設備投資、創業、新事業展開などに関する総合的な支援

【デジタル技術の導入の支援】

- ・「あいち DX 推進プラン 2025」に基づく行政手続のデジタル化、県内産業の ICT 化支援

【人材の育成・確保の支援】

- ・「愛知県産業人材育成支援センター」における相談対応等の実施
- ・県立高等技術専門校における企業ニーズに対応した人材育成の支援

【感染症や災害リスクに対応する取組の支援】

- ・業種や企業規模等に応じて作成した「あいち BCP モデル」の普及
- ・中小企業等に対するテレワークの導入支援

【中小・小規模企業の魅力発信】

- ・「愛知ブランド企業」、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」制度等による独自性や先進性を有する企業の情報発信

○主な成果達成目標

柱	項目	目標	現状
柱 1	製造品出荷額等の全国シェア	15.0%程度 (2025年までに)	14.7% (2018年)
	スタートアップと様々なプレーヤー間の共創による新規事業開発件数(年間)	50件 (2025年度まで)	10件 (2019年度)
柱 2	サービス産業の経営革新計画の承認件数(年間)	120件 (2025年度まで)	93件 (2019年度)
	モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等との相談・マッチング件数(年間)	80件 (2025年度まで)	72件 (2019年度)
柱 3	観光消費額(年間)	1兆円 (2023年までに)	8,599億円 (2019年)
	観光入込客数(年間)	1億2,000万人回 (2023年までに)	1億1,854万人回 (2019年)
柱 4	輸出額の全国シェア	21.0% (2025年までに)	20.7% (2019年)
	研究開発費の全国シェア	15.0%程度 (2025年度までに)	14.2% (2018年度)
柱 5	労働力率	64.5%を上回る (2025年までに)	64.5% (2019年)
	年次有給休暇取得日数	10日 (2025年までに)	9.6日 (2019年)
柱 6	認定職業訓練生数(年間)	25,000人 (2025年度まで)	18,703人 (2019年度)
	技能検定合格者数(年間)	8,500人 (2025年度まで)	7,530人 (2019年度)
基盤 施策	中小企業の製造品出荷額等シェア	10.0% (2025年までに)	8.76% (2018年)
	経営革新計画の承認件数(年間)	300件 (2025年度まで)	230件 (2019年度)

目指すべき姿の実現に向けた先導プロジェクト

- 6つの施策の柱と1つの基盤施策に掲げた施策の中でも、特に重点をおく施策を先導プロジェクトと位置付け、着実に推進していく。

プロジェクト1 「ステーションA i」を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成

◎日本最大級・世界最高レベルのスタートアップ中核支援拠点「ステーションA i」を愛知・名古屋の中心部（鶴舞公園南）に整備し、「ステーションA i」を中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成を目指していく。

【具体的な取組】

- ・「ステーションA i」の2024年度内オープンに向けた整備の推進
- ・ハード・ソフトにおけるデジタル・トランスフォーメーション推進環境の整備、オフライン（リアル）・オンライン（リモート）を融合した新たなコミュニティの形成
- ・海外の支援機関・大学との連携を通じた支援プログラム等のワンストップ・ワンルーフでの提供
- ・県内各地域におけるテーマ・分野別のサテライト支援拠点の設置の推進
- ・国の「グローバル拠点都市」の認定を契機とした「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」の取組の推進



プロジェクト2 革新的技術の社会実装の推進

◎「自動運転」、「介護・リハビリ支援ロボット」、「ドローン」、「サービスロボット」の社会実装に向けた取組を進め、中部国際空港島を中心とする地域でのスーパーシティ化に向けた取組に生かしていく。

【具体的な取組】

- ・中部国際空港島内、愛・地球博記念公園内等での自動運転によるモビリティサービスの提供の実現を目指した取組の推進
- ・相談窓口における介護・リハビリ支援ロボットの社会実装に向けた相談窓口の開設、開発企業と利用現場のマッチング支援
- ・ドローンの社会実装に向けた事業モデルの作成・発信による社会実装の推進
- ・中部国際空港を始め、県内の様々な施設におけるサービスロボットの実証実験等の展開による社会実装の促進



自動運転実証実験（中部国際空港島）

プロジェクト3 「Aichi Sky Expo」を活用した MICE の誘致・開催

◎愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）において、世界に発信し、世界から注目が集まる国際的な展示会やイベントを誘致・開催するとともに、展示会を通じた新たな交流による新産業の創出や既存産業の高度化を図っていく。

【具体的な取組】

- ・「展示会産業振興基金」を活用したイベントの開催支援や新たな国際産業展の開催に向けた検討
- ・「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」による地域が一丸となった MICE 誘致

＜今後開催予定の大規模イベント＞

- 2021年：ワールドロボットサミット 2020
- ロボカップアジアパシフィック 2021 あいち
- 伝統的工芸品月間国民会議全国大会



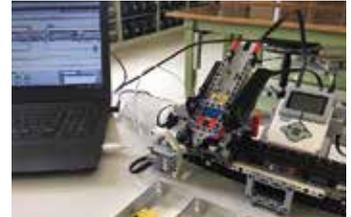
愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）

プロジェクト4 中小・小規模企業におけるデジタル技術の導入の支援

◎「愛知県 DX 推進本部」を立ち上げ、「あいち DX 推進プラン 2025」に掲げる施策を速やかに実行に移すとともに、国のデジタル化に向けた取組に的確に対応する。

【具体的な取組】

- ・（公財）あいち産業振興機構の IT マネージャー、IT コーディネーターによる相談対応の実施
- ・相談窓口による IoT や産業用ロボットなどのデジタル技術の活用支援
- ・「デジタル人材育成ワーキンググループ」による産業界のニーズを踏まえた取組の推進、「GIGA スクール構想」などによる ICT 教育の推進など、デジタル人材の育成
- ・デジタル技術を活用した経営改善を促進する経営層向けのセミナーや現場でデジタル技術を導入、利活用していくための研修会等の実施
- ・名古屋高等技術専門校の「組込みシステム科」における IoT 技術者の育成



組込みシステム科の訓練の様子

プロジェクト5 テレワークを始めとする多様で柔軟な働き方の促進

◎誰もが様々な状況に応じた多様な働き方を選択できるよう、「あいちテレワーク推進アクションプラン」に基づくテレワークの普及や、働き方改革を進めていく。

【具体的な取組】

- ・テレワークの活用方法や導入プロセスを学ぶ「テレワーク・スクール」の開催
- ・テレワーク導入に向けた相談会の実施やアドバイザーの派遣
- ・テレワークの導入事例や助成制度の案内等の情報発信
- ・ワーク・ライフ・バランス普及コンサルタントの派遣
- ・企業の人事労務担当者を対象としたセミナーの開催など、企業等における働き方改革の取組の支援



テレワークの様子

プロジェクト6 県立高等技術専門校の再編・整備による人材育成機能の強化

◎県立高等技術専門校の施設整備と組織再編を一体的に進め、地域や企業のニーズを踏まえたモノづくり人材の育成機能を強化し、中小企業への支援の充実を図る。

【具体的な取組】

- ・岡崎高等技術専門校の建替えの実施（建替え後は、「三河高等技術専門校（仮称）」）、完成後の2校体制（2025年度予定）
- ・岡崎高等技術専門校におけるロボットシステム等の訓練科の新設による、デジタルを利活用する人材の育成
- ・中小企業における人材のリスキング（再教育）やスキルアップを強化するため、在職者を対象とした職業訓練の規模・内容の充実



三河高等技術専門校（仮称）完成予想図



～危機を乗り越え、世界に輝く国際イノベーション都市へ～

あいち経済労働ビジョン 2021-2025 概要版

～危機を乗り越え、世界に輝く国際イノベーション都市へ～

2021年3月

編集・発行 愛知県経済産業局産業部産業政策課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6330 (ダイヤルイン)